

ガイド

板橋兵左衛門家のなぞ

600石・板橋兵左衛門家は大名小路の西側に屋敷を構える重臣である。板橋家は二連木以来の譜代の家臣ではない。常陸笠間において慶長19年(1614)戸田康長に80石で召抱えられている。そして、同年大坂冬の陣に出陣している。15年後、寛永6年(1629)1000石になり年寄り役をおおせつかっている。なんとも破格の出世である。板橋家の出身記には「兵左衛門政吉 常州(常陸)笠間に住す。先祖は平姓、村岡氏を名乗るところ、故あって板橋氏となす」とある。それ以上の出自はわからない。



板橋家には「夜光稲荷伝説」がある。昭和8年刊の松本市史は次の様に記している。

「夜光稲荷は大名町西側板橋家の邸内に祀られている。昔戸田康長大坂天王寺の戦の時敵と引き組み、折り重なって溝に落ちる。板橋兵左衛門かくと見て槍引っさげて駆けつけ、主人を救わんとすれど夜中のこととて敵味方を弁せず、丹波殿は上か下かといえ、上なりと答う、否下なりと他の一人は答う。兵左衛門とやかかくと躊躇しける際、不思議やたちまち空中に火の玉現れ、辺りを照らして真昼の如し、見れば下に組み敷かれたるが主人康長なれば、即座に上なる武士を刺殺し主人を救うを得たり。爾来板橋家はその奇蹟を崇め、夜光稲荷として邸内に祀る。社殿は莊嚴にして大正末年まで存在せり。」

この伝説では板橋家は主君を救った忠臣としてえがかれている。突然光った火の玉は狐火と考え、稲荷を祀ったのである。



本年9月初旬、日光市板橋の田辺氏から板橋家についての問い合わせがあった。(日光市板橋は合併前は今市市板橋であった。)その折、板橋家の出自が現日光市板橋であることをご教授いただいた。以下田辺氏の御著書「日光山麓の郷 板橋の歴史」から板橋氏が戸田康長に仕官するに至る箇所を要約・引用させていただきます。

板橋氏は桓武平氏の出で板橋城主板橋将監親棟の祖先は平良文で武州村岡に住んでいました。その子孫太郎太夫親盛は北条氏に属し豊島郡板橋に住み板橋因幡守親盛と名乗りました。その子が板橋将監親棟である。板橋将監は北条傘下にあつて板橋城主（現日光市板橋）となり一帯に勢力を張りました。小田原の合戦には北条氏方に、下野の壬生義雄の下に参戦し、破れて板橋将監は板橋城に戻り秀吉と家康に恭順して出家し文禄3年に没した。

「板橋将監には二人の男の子がいました。長男の行常は、父親棟にしたがって板橋城に移ってきて、板橋将監と行動をともにしました。次男の親恒は幼かったため武蔵国にとどまりました。親恒の子孫は、江戸で旗本や板橋宿名主として長く繁栄しています。

板橋将監の死後、板橋城に残っていた子行常は孤立をよぎなくされ、嫡子行武をつれて妻の縁をたよりに武州勅使河原城へ落ちのびました。行常は迎えられて城主の名代となり、名も勅使河原豊前守行常と改めましたが、その後、行常は妻と死別したため、出家して荒廃した板橋に戻り晩年を静かにくらししました。寛永12年（1635）にその生涯を終えましたが、瑞光寺第十三世の住持吉松源良大和尚こそ、実は板橋将監の子加賀守行常その人です。

また行常の子行武は、母方の縁から勅使河原五郎右衛門と称し、勅使河原にとどまりました。行武はその後、再び板橋大隈守と名のりましたが、のちに常陸国笠間に移り、仏門に入って道全入道正高と称しました。そして元和4年（1618）に死去、笠間の鳳台院に葬られました。

行武の子の兵左衛門正吉は、折から笠間城主であつた松平丹波守康長に仕官しました。

松平康長は、その後移封をかさね、元和3年（1617）に信州松本城に移りました。

松平康長は元和2年（1616）、高崎城主のとき、東照大権現廟造営手伝いを命ぜられ日光に赴いており、さらに信州松本城のときの元和5年（1619）には、三代将軍徳川家光の日光社参に供奉しています。

福生寺にある位牌は、板橋将監親棟の四代目の後裔で松平康長に仕えていた板橋兵左衛門正氏が、主君の日光参詣の折随行し、その途中で先祖ゆかりのこの地に立ち寄り、祖先の墓に詣で、位牌を福生寺に納めて供養したものとみられています。

また、東京都板橋区板橋本町にある智清寺には、江戸時代を通じて中仙道板橋宿の名主役をつとめた板橋市左衛門の墓所があり、そこには「孝譽源忠居士 慶安二己丑年六月三日板橋氏立之」と刻まれた五輪塔が建っています。

この法名は板橋将監その人であり、慶安2年（1649）にその後裔である板橋市左衛門等が板橋将監の霊を供養するため建立しました。

日本国内の最大の動乱期「戦国時代」に、板橋の名の起源があり、この地 板橋で、おおいに勢力をふるつた板橋城主「板橋将監親棟」がいたことは、後世に伝えたい板橋の大きな歴史です。」（※松平康長とは戸田康長のことです）

一本の依頼電話から板橋家が笠間で戸田康長に仕官するまでのことがわかりました。